



白馬村第5次総合計画

基本構想

2016 — 2025

基本計画

2016 — 2020

概要版



白馬の豊かさとは何か

—多様であることから交流し学びあい成長する村—

村長あいさつ



本村には、国内外から移住された方や、定期的に来訪される方も含め、この地域を愛する多くの人々が生活・滞在しています。平成28年度から10年間の村づくりの方針を示す「白馬村第5次総合計画」では、策定の過程で多くの村民や白馬ファンなどからご意見を伺う中で、「多様性」と「学びあい」をテーマに、白馬村にとっての豊かさを問い続けることで、成長し続けることを基本理念としています。

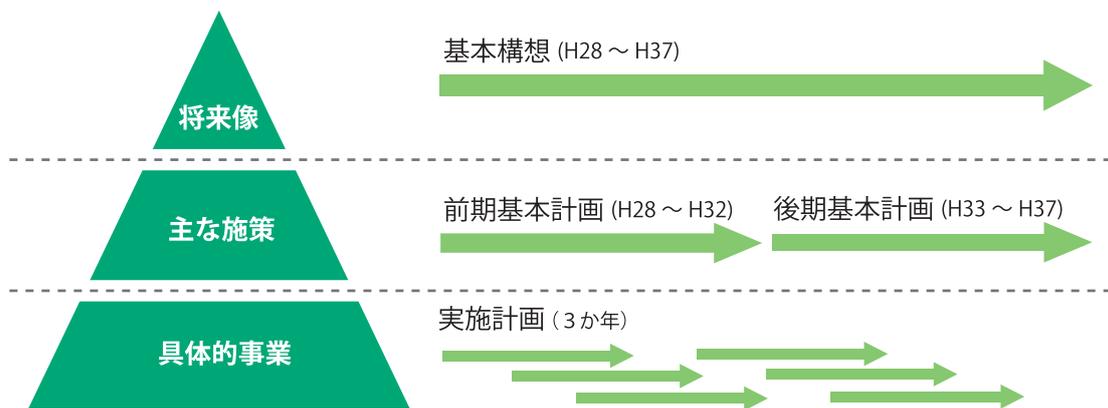
平成26年11月に発生した長野県神城断層地震では、「地域の絆」による防災・減災のモデルとなり、全国から注目を集めました。地域コミュニティの重要性を改めて認識すると同時に、人口減少・高齢化社会を迎え、経済的・物的規模が縮小していく時代において、地域コミュニティをどのように維持し、村民と行政との「協働のまちづくり」をどう推進するのか、真剣に向き合っている時期を迎えています。

幸いにも白馬村には、世界中の人を惹きつける山岳景観や自然環境があり、その土地の暮らしに根付いた多様な歴史や文化も各地区に残っています。第4次総合計画の基本理念である「むらごと自然公園」の考えを踏襲し、それらの貴重な資源を守り受け継ぐとともに、国内外からの移住者や来訪者など白馬村を愛する多様な立場の人々の交流から「学びあう」ことを意識し、様々な分野で「白馬の豊かさ」を発見しながら成長していく必要があります。

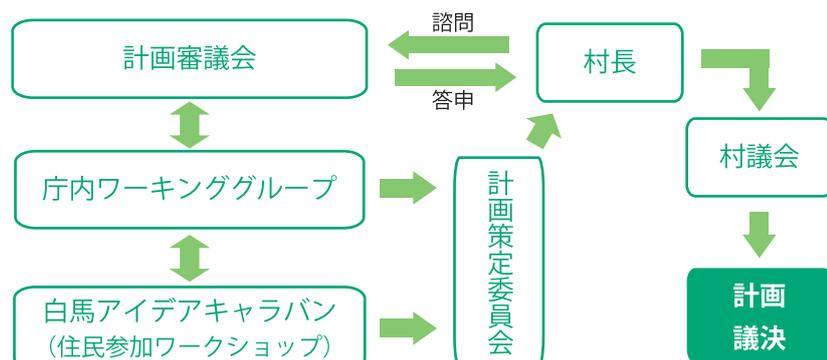
村民一人ひとりが「豊かさ」を感じるとともに、あたたかいおもてなしの心を持つことで、国際的な観光地としての地位を確立できるよう村づくりを進めてまいります。

白馬村長 下川 正剛

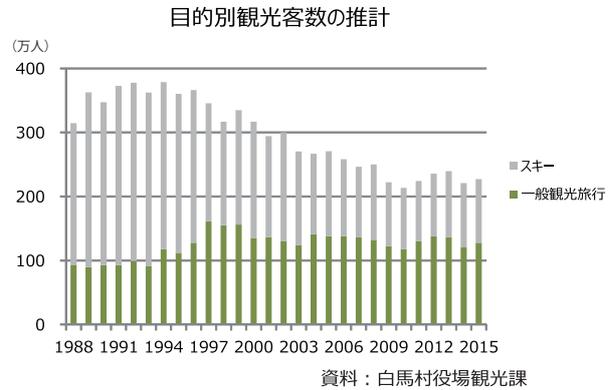
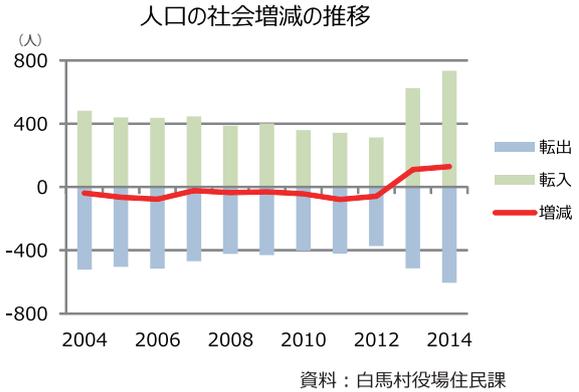
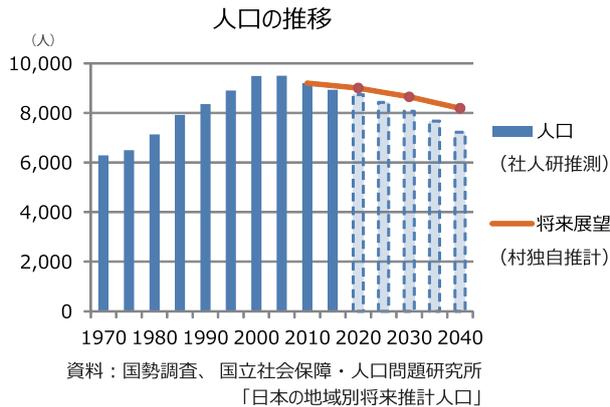
計画の構成と策定体制



計画の策定にあたっては、計画審議会において白馬村総合戦略と併せて審議するとともに、住民インタビューや村内外でのワークショップなど、ご意見をお聴きする場を多数設けました。



白馬村を取り巻く状況



基本構想

基本理念

白馬の豊かさとは何か —多様であることから交流し学びあい成長する村—

基本目標

暮らし

安心してみんなが暮らせる村

住んでいる全ての人が助け合いながら、安心して心豊かに暮らせる村を目指します。

産業

新しい仕事をつくりだす村

村の豊かな自然環境を有効に活用しながら、環境の変化に対応できる仕事をつくりだす村を目指します。

ひと

一人ひとりが成長し活躍できる村

ひとの出入りが流動的でも、お互い知り合う努力をして、学びあい成長し活躍できる村を目指します。

自然

魅力ある自然を守る村

世界的に有数な自然環境を後世にも引き継げるように、大切に維持できる村を目指します。

基本計画

暮らし — 安心してみんなが暮らせる村

多様性を尊重し、住民が主体的に協働・共生する村づくり

- ・住民参画と協働
- ・開かれた行政運営
- ・多様な人々の交流・共生

安心・安全の生活を支える村づくり

- ・防災・減災の強化
- ・日常の住みよさの確保

支え合う福祉と健康の村づくり

- ・子育て支援
- ・障がい者支援
- ・高齢者福祉
- ・健康づくりと地域医療の充実

自立的・効率的で健全な行財政の村づくり

- ・情報通信技術の活用
- ・行財政改革の推進

■住民の声（一例）

住民の高齢化により行政区の維持が心配の
移住してきた人たちとの交流の場が欲しい

■代表的な施策

行政区の主体的な取組みの支援

本村では、古くから行政区を中心としたコミュニティを形成し、伝統行事や各種作業、施設の維持管理など相互扶助による住民自治が行われ、信頼と協力関係を築いてきました。しかしながら、少子高齢化や人口減少、住民の多様化、「個」を尊重する社会的変化により、行政区の加入率は低下しています。これからの行政区の意義やあり方を再定義し、地区担当職員制度を活用して各行政区の運営や事業を支援することで、住民と行政が協働する持続可能な村づくりを推進します。

指標	現状値(2014)	目標値(2020)
行政区加入率	52%	80%

産業 — 新しい仕事をつくりだす村

「世界水準」を意識した観光の村づくり

- ・競争力と持続可能性を高める観光地経営

農地と森を守り地産を活かす村づくり

- ・優良農地の保全
- ・農産物のブランド化と特産品の生産・販売の推進
- ・森林の整備と活用

商工業の振興により雇用を生みだす村づくり

- ・商工振興・創業支援
- ・産官学労言連携



■住民の声（一例）

グリーンシーズンの魅力を積極的にPRして、
通年で安定した観光雇用を創出してほしい
ITなど観光以外の産業を誘致してほしい

■代表的な施策

魅力の多様化に向けたコンテンツ創出

夏季・冬季それぞれ屋内外でのアクティビティを積極的に展開するとともに、オリンピック開催経験に裏付けされたブランドイメージを活かしたスポーツ関連プログラムや、地元食文化と温泉を組み合わせた魅力を強化し、歴史・文化・芸術系の資源を観光に活用することで、雨天時も多様な楽しみ方ができる村づくりを進めます。また、地元食材と観光施設が経済的・有機的に流通するシステムを構築します。

指標	現状値(2014)	目標値(2020)
グリーンシーズン観光客入込数	111万人/年	130万人/年

ひと — 一人ひとりが成長し活躍できる村

学びあい育てあう村づくり

- ・次代を担う子どもたちの学習支援
- ・生涯学習と青少年育成

生涯にわたるスポーツに親しむ村づくり

- ・スポーツによる健康づくりと活力の創造

一人ひとりに活躍の場がある村づくり

- ・人のつながりによる活力の創出
- ・男女共同参画社会の推進



■住民の声 (一例)

知の交換場所（知的インフラ）として、村民一人ひとりの能力を最大限に引き出す多機能型図書館を整備してほしい。

白馬で義務教育を受けると英会話力が身に付くような教育プログラムにしてほしい。

■代表的な施策

図書館の充実

住民の暮らしと文化振興の活力となるよう、公共図書館の運営を充実させるとともに、地域おこしやまちづくり、人づくりに役立つ魅力ある図書館を目指します。

指標	現状値(2014)	目標値(2020)
図書館来場者数(延べ)	12,800人/年	25,000人/年

自然 — 魅力ある自然を守る村

かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり

- ・天恵の自然との共生
- ・自然エネルギーの利活用

自然との生き方を受け継ぐ村づくり

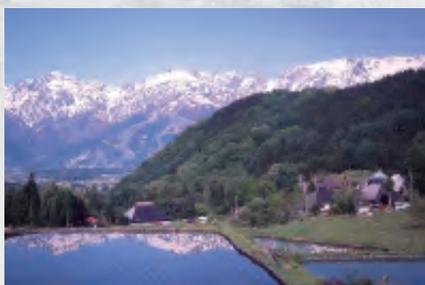
- ・守るべきふるさとの歴史と文化の継承

美しい景観を守り育む村づくり

- ・自然環境に調和したまちづくりの推進

きれいな水と空気に囲まれる村づくり

- ・ごみ処理広域化への対応とごみ減量化
- ・きれいで安心・安全な水環境の保全



■住民の声 (一例)

住民一人ひとりの景観・美化意識を高揚してほしい。

電線・電柱の無い美しい景観を実現してほしい。
村の生命線である山岳環境を守ってほしい。

■代表的な施策

自然環境の保護

雄大な山岳自然環境を財産として認識し、グリーンパトロール活動等を実施することで、白馬連山高山植物帯や八方尾根高山植物帯、親海湿原や名水百選に選ばれている姫川源流等の貴重な自然環境を保護します。また、山小屋や平地の公共観光施設において、環境配慮型トイレへの改修を順次進めます。

指標	現状値(2014)	目標値(2020)
環境配慮型トイレへの改修	—	1か所

計画策定の経過

H27

3月
～
4月

村民アンケート (959名)

施策に対する満足度や村の課題と将来像、開発規制や地域活動、協働、防災対策等について無作為抽出で郵送により調査しました。

10月

ミニキャンプ [集団インタビュー] (22名)

村づくりに対する住民の考えを把握することを目的に、ウイング21と白馬村役場にて2回に分けて村政に対する意見や要望・提言等をお聞きしました。

12月
～
2月

住民インタビュー (45名)

学生から高齢者、移住者や外国人も含めて幅広い住民を対象に白馬村の課題や将来像を聞取りました。

H28

2月

アイデアキャンプ&カフェ (約75名)

昼はカフェ、夜はキャンプと題して、3日間にわたり「現在の困りごと」や「10年後の将来像」について意見交換しました。



5月

アイデアキャラバンキックオフワークショップ (約60名)

これからの人口減少社会における地域のあり方について講演を聴いたうえで、「自分ができること」、「村に足りないスキル」等を話し合いました。



6月

エリアキャラバン (約50名)

3日間にわたり村内3会場で、各地域特有の課題について意見交換しました。



7月

東京ワークショップ (約70名)

ヤフー株式会社代表取締役社長の宮坂学さん、studio-L 代表の山崎亮さん、村長の鼎談の後、村外の白馬出身者や白馬ファンに「白馬でできる豊かな生活」について意見をいただきました。



8月

白馬ワークショップ (約20名)

それまでの村内外のワークショップに参加した方が集まり、2日間かけて「豊かな生活」の実現のためにできる具体的な活動内容を議論しました。

8月
～
9月

パブリックコメント (5名14件)

計画審議会の開催状況

平成27年	8月24日	第1回計画審議会
	10月23日	第2回計画審議会
	11月17日	第3回計画審議会
	12月1日	第4回計画審議会
	12月18日	第5回計画審議会
平成28年	1月20日	第6回計画審議会
	2月18日	第7回計画審議会
	2月25日	第8回計画審議会
	3月15日	第9回計画審議会
	5月24日	第10回計画審議会
	8月10日	第11回計画審議会



計画審議会の様子



計画審議会から村長への答申

計画策定にあたり、多くの方にご協力いただきました。
この場を借りて御礼申し上げます。

